



～ピカピカの1ねんせい！！～ (西小学校入学式)

# かみふらの 議会だより

第 82 号

2014年4月25日発行  
発行 上富良野町議会

- 第1回定例会 各会計予算を原案可決・・・・・・・・ P2
- まちづくりを問う!! 一般質問5名の議員が質問!・・・・ P10
- 委員会のうごき 厚生文教常任委員会、議会運営委員会の視察報告・・・・ P16
- みんなの声 「町のひと」にインタビュー!・・・・ P20

# 70億円超える

特別会計 31億9400万円



## 歳入

自主財源の町税は、前年比1.3%増の9億7千万円となり、国から交付される依存財源の地方交付税は、2.3%減の28億7千300万円になりました。財源を確保するため、公共施設整備基金、財政調整基金などの取り崩しを行い、繰入金として5億9千450万円を計上しました。

上富良野中学校

耐震化実施設計

5千400万円

町民が安心して暮らせる予算？

3月定例会は4日から19日までの16日間の会期で開催しました。予算特別委員会では「町民が安心して住み続けられる」予算になっているか、真剣な審議をしました。予算委員会の最終日に採決が行われ、賛成11、反対1で可決しました。一般質問では5人の議員が行政全般に対し政策提言をしました。

アップ！  
規事業

### 歯周疾患検診（成人期）助成

町民の歯周病などを早期に発見し、早期治療を受けることを促進する予算です。対象者は40歳～60歳まで5歳刻み。（45歳、55歳は町独自で対象者を拡大）



予算額 68万円

### イベント用テント設置

街のにぎわいづくりの拠点として商工振興イベント、農産物直売、フリーマーケットなど多様なイベントに活用できるように、大型テントを設置します。



イベント用テント（イメージ）

予算額 800万円

26 年度  
予算

一般  
会計

# 当初予算

一般会計 前年度対比 11.7%増 70 億 8600 万円

## 歳 出

平成 26 年度各会計別予算額（千円以下切り捨て）  
※端数整理のため、額は整合しない。

会 計 名	26 年度 予算	前年度 比
一 般 会 計	70 億 8600 万円	11.7%
特別会計	国民健康保険	13 億 6171 万円 ▲0.02%
	後期高齢者医療	1 億 3368 万円 14.9%
	介護保険	8 億 3463 万円 3.4%
	ラベンダーハイツ事業	2 億 9876 万円 0.5%
	簡易水道事業	6846 万円 8.1%
	公共下水道事業	4 億 9698 万円 21.9%
企業会計	水道事業 (事業費用)	1 億 7182 万円 9.1%
	(資本的支出)	1 億 594 万円 10.4%
	病院事業 (事業費用)	9 億 5552 万円 7.0%
	(資本的支出)	2413 万円 39.5%
合計	115 億 3769 万円	9.5%

義務的経費の person 費は 5.0% の減、扶助費は、消費税に伴う臨時福祉交付金及び子育て世帯臨時交付金に要する経費を計上しました。  
 投資的経費は、防災資機材倉庫整備事業、上富良野中学校校舎耐震改修実施設計、第 20 号橋と第 21 号橋架替事業などが増え、前年同比 66.9% 増の 18 億 446 万 8 千円を計上しました。



## クローズ 主な新

### 超高速ブロードバンド事業

高度通信社会の進展に伴い、市街地と農村地域との情報通信環境格差を解消するため、農村地域へ無線での高速通信環境を整備する事業です。



庁舎屋上にあるアンテナと住宅に設置するアンテナ

予算額 2 億 3880 万円

### 防災資機材倉庫整備

上富良野小学校用倉庫整備にあわせ、災害時における緊急対用資機材の保管場所として倉庫を整備します。



災害用の備蓄食料など

予算額 3550 万円

# 健全な運営にやむを得ず 国民健康保険税 引き上げ

国民健康保険税の  
改定を可決しました。

■表 1 国民健康保険税の改正内容■

内訳		改正前	改正後
医療分	所得割	5.9%	<u>7.4%</u>
	資産割	37.0%	37.0%
	被保険者均等割	25,000円	<u>29,000円</u>
	世帯平等割	23,000円	<u>25,000円</u>
後期高齢者支援分	所得割	2.0%	<u>2.6%</u>
	資産割	12.4%	12.4%
	被保険者均等割	7,800円	<u>9,300円</u>
	世帯平等割	7,000円	<u>9,000円</u>
介護分	所得割	1.6%	1.6%
	資産割	7.8%	7.8%
	被保険者均等割	9,200円	9,200円
	世帯平等割	6,000円	6,000円

国民健康保険は、予防医療の積極的な取り組みにより、重症化を避け医療費の支出抑制に努めてきました。平成21年度には2千600万円あった基金も、平成22年度に取り崩し、現在の残高は18万円しかなく、繰越金も年々減少しています。

今後、高齢化の進展とともに医療費の支出増も見込まれ、このままでは、町民の健康と安心を守る「国民健康保険特別会計」の健全な運営を続けることができなくなりました。そのため、税率を表1のように改正しました。

平成24年度の国民健康保険の加入は1千73世帯、3千240人で全町民の28%であり、21年から24年度までの4年間に一般会計から法定内繰入を行った平均額は1億738万円となっています。また、町では法定外の繰入はしていません。(表2参照)

日本は国民皆保険制度となっており、国民健康保険以外にも多くの保険があり、その保険料は雇用主と被保険者が50%ずつ負担し、町からの財政負担はありません。

特定健診は生活習慣病予防のために40歳から74歳を対象に実施しています。健診結果を生活習慣の改善にいかすことで病気になるっても重症化が避けられ、医療費の抑制にもつながる特定健診は、ここ数年の受診率で和寒町が72.4%と上富良野町が70.3%で全道の1、2位を競っています。(表3参照)

しかし、1人あたりの保険税では和寒町が約1万円安く、1人あたりの医療給付額では町が約2万7千円安くなっています。(表4参照)

モデルケースで比較！  
『どのくらい上がるの??』



○ケース 1

- ・50歳代夫婦、子ども3人
- ・持家に居住
- ・所得は夫（農業）270万円のみ
- ・固定資産税3万円

現行		改訂後	
所得割	225,100円	所得割	274,900円
資産割	17,100円	資産割	17,100円
均等割（1人あたり）	182,400円	均等割（1人あたり）	209,900円
平等割（1世帯あたり）	36,000円	平等割（1世帯あたり）	40,000円
計（100円未満切捨）	460,600円	計（100円未満切捨）	541,800円

影響額 ・所得割 49,800円 ・資産割 0円  
 ・均等割（1人あたり）27,500円  
 ・平等割（1世帯あたり）4,000円

合計 81,200円 ※端数整理のため整合しない



○ケース 2

- ・夫70歳代、妻60歳代
- ・持家に居住
- ・所得は0円（年金収入のみ）
- ・固定資産税1万6千円

現行		改訂後	
所得割	0円	所得割	0円
資産割	7,900円	資産割	7,900円
均等割（1人あたり）	19,600円	均等割（1人あたり）	22,900円
平等割（1世帯あたり）	9,000円	平等割（1世帯あたり）	10,200円
計（100円未満切捨）	36,500円	計（100円未満切捨）	41,000円

影響額 ・所得割 0円 ・資産割 0円  
 ・均等割（1人あたり）3,300円  
 ・平等割（1世帯あたり）1,200円

合計 4,500円

■表 2 年度別国民健康保険加入状況と一般会計からの法定内繰入金■

年度別	国保加入数	国保加入率	一般会計からの繰入金
平成21年度	3,400人	28.6%	1億978万6千円
平成22年度	3,370人	28.6%	1億828万7千円
平成23年度	3,311人	28.2%	1億418万5千円
平成24年度	3,240人	28.0%	1億727万8千円

■表 3 平成24年度 特定健診実施状況■

順位	町村名	特定健診		
		対象者数	受診者数	受診率
1	和寒町	1,012人	733人	72.4%
2	上富良野町	2,169人	1,524人	70.3%
3	南富良野町	473人	312人	66.0%
4	剣淵町	938人	610人	65.0%
6	中富良野町	1,299人	813人	62.6%
7	中川町	376人	232人	61.7%
8	音威子府村	137人	84人	61.3%
10	幌加内町	365人	214人	58.6%
全道179市町村合計		963,110人	231,507人	24.0%

■表 4 1人あたりの調定額と給付額■

順位	町村名	調定額	順位	町村名	給付額
1	猿払村	160,128円	1	初山別村	499,742円
2	羅臼町	141,315円	2	南富良野町	454,270円
3	利尻町	131,450円	3	音威子府村	438,604円
6	剣淵町	124,244円	6	下川町	422,802円
23	大雪広域連合	114,842円	44	和寒町	354,343円
40	中富良野町	106,687円	68	上富良野町	327,031円
62	上富良野町	98,674円	76	大雪広域連合	317,721円
92	和寒町	88,770円	82	剣淵町	310,420円
108	南富良野町	80,893円	89	占冠村	304,142円
111	占冠村	78,705円	90	中富良野町	303,025円
町村平均		102,400円	町村平均		332,039円
市平均		89,676円	市平均		354,275円

157市町村・3広域連合  
 ※大雪広域連合＝東神楽町、東川町、美瑛町で構成

質疑

**問** 所得階層別の加入世帯の状況は。  
**答** 平成25年度は、世帯数1千783世帯で、所得200万円以下は1千333世帯で、全体の74.8%を占めている。所得0円の世帯は344世帯で、19.2%。所得200万円以上は450世帯で、25.2%となっている。

**問** 一人当たりの保険税調定額は。  
**答** 平成23年度は9万8千674円でしたが、平成25年度の国保加入者の所得にもよる、調定額の多少があるが、11万3千円程度を見込んでいる。

**問** 国保税を軽減するため、一般会計から法定外の繰入をすべきではないか。  
**答** 医療給付費が増嵩しているものの、加入者数は約3千300人、加入率28%台で推移している。国保以外の町民は、各保険の被保険者の負担での運営が基本であり、一般会計からの法定外繰入の考えはない。

# 補正予算

## 一般会計補正予算を可決

議会広報印刷製本費ほか8件の債務負担行為の設定、興農地区道管基盤整備の事業費確定による減額、地方債の限度額の変更、燃料高騰に伴う8施設の燃料費の増額、東中道管整備事業、島津農業水利施設合理化事業補正、除排雪委託費の増額など、9億2千403万1千円を増額し、総額84億6千778万8千円とする補正予算を可決しました。

■ 3月補正予算の状況 ■

会計名	補正額	総予算額
一般会計	9億2403万1千円	84億6778万8千円
国民健康保険特別会計	1016万5千円	13億9358万7千円
後期高齢者医療特別会計	266万3千円	1億2492万4千円
介護保険特別会計	▲375万7千円	8億1548万7千円
ラベンダーハイツ特別会計	22万9千円	3億182万6千円
簡易水道事業特別会計	911万4千円	7447万6千円
公共下水道事業特別会計	▲344万8千円	4億923万円
水道事業特別会計	(収益的支出) 0円	1億5742万5千円
病院事業特別会計	(事業費用) 0円 (資本的支出) 3万円	8億6903万6千円 1786万5千円

## 町道の除排雪委託料を増額

昨年と同額の予算を計上していましたが、今冬は雪の量が多く、出勤回数も増えたため、1千84万円を増額する補正予算を可決しました。



排雪作業のようす

## 落雷被害により

### 簡水予算を増額

江花浄水場の落雷被害が認定され、共済費の給付が決定したことから、復旧修理費、1千136万8千円を繰越明許費として補正しました。



被害を受けた江花浄水場

### 質疑

#### 問

除排雪が以前より悪くなったように感じられ、回数や状況はどのようになっているか。

#### 答

今年は雪の量も多く、4社で29台の車両がフル稼働し、回数も多くしている。

## 特別会計補正予算を可決

国民健康保険特別会計などの特別会計補正予算5件、水道事業会計などの企業会計の補正予算2件を可決しました。

### 質疑

#### 問

落雷の被害はどのようにして生じたのか。今後の落雷対策は。

#### 答

直接建物に落雷したものの、水道管を通じて入ったものか、因果関係ははっきりしていない。しかし、過電流によって被災したのは明らかとなっている。避雷針なども設置してあるので、従来通り対応を図っていく。

### 人事案件



米田 末範さん (67 歳)  
昭和 21 年生  
宮町 3 丁目

3 月 31 日をもって任期満了となる代表監査委員に、引き続き米田末範さんを選任する議案が提出され、全員賛成で同意しました。



山本 勉さん (68 歳)  
昭和 21 年生  
東 3 線北 23 号

人権擁護委員候補者に山本勉さんを推薦する議案が提出され、全員賛成で適任と答申しました。

## 条例改正

### ラベンダーハイツ条例の

#### 一部を改正

地域支援事業の一部がラベンダーハイツの「生きがい活動支援通所サービス」、生活管理指導短期宿泊サービス」事業に移行されました。

### 分担金等の延滞金

#### 徴収条例などの一部改正

地方税法の一部を改正する法律において、延滞金及び還付加算金の特例条項が見直されたことにより、上富良野町分担金等の延滞金徴収条例と上富良野町後期高齢者医療に関する条例、上富良野町介護保険条例の一部を改正しました。

### 企業振興措置条例の

#### 一部を改正

工業等用の施設整備を行った場合に固定資産税を減免できる固定資産評価額の下限の引き下げなどを改正しました。

### 第 1 回臨時会 (3 月 28 日開催)

○ 地方交付税の増額により、一般会計予算を増額しました。

◆ 質疑から  
問 農業振興基金より財政調整基金に積み上げた方が活用しやすいのでは。  
答 基盤整備事業や農地の減災対策など、大きな事業が予定されており、農業振興基金に積み立てる。

## 意見書を国などに 提出しました

### TPP 交渉等

#### 国際貿易交渉に係る意見書

TPP 交渉において、重要品目や食の安全、交渉の透明性などについて決議した衆参両院農林水産委員会決議を遵守できなければ、TPP から脱退すること。

また、すべての国際貿易交渉において重要品目等の関税等国境措置を堅持するよう求める意見書です。

# 26年度予算を

## 徹底審査！

### —歳入—

#### 空き家対策

Q 放置されている空き家や廃屋などの撤去を促進するために、空き家などが建っている土地の固定資産税の減免措置をなくすことはできないのか。

A 全国一律の制度のため、当町だけ減免措置をなくすことは難しい。

### —歳出—

#### 防災

Q 災害時の要援護者マップを随時更新し、役場でも住民会と同じ情報を共有すべきでは、住民会や町内会と協議し、常に新しい情報を共有できるように検討していく。

### —歳入—

#### バリアフリー化

Q 日東会館の玄関前の地面が陥没して段差が大きくなっている。その他の古い分館や会館などもバリアフリー化を図れないか。

A 現地の状況を把握し、分館長などと調整して対応を検討したい。



地盤の陥没で段差が大きくなった日東会館入口

3月13日から4日間にわたり開催し、26年度の予算について審議を行いました。委員会の中で行われた質疑を要約して掲載します。

#### ラベンダー

Q 道道吹上上富良野線のラベンダー植え替えはどのように行うのか。

A 和田地先から4線道路の交差点付近まで町が植え替えを行い、その先は北海道が行う。7月のシーズンに間に合うよう植え替えを行う予定。

#### 花人街道

Q 花人街道連携協議会はどのような活動を行っているのか。

A 上富良野町・中富良野町・美瑛町・東神楽町・東川町の5町で構成し、花畑の連携を中心とした観光振興に努めている。



道道吹上上富良野線のラベンダーロード

#### 子育て支援

Q 子育て世帯臨時特例給付金は、平成26年度限りの給付金なのか。

A 国の施策のため、次年度以降の予定は聞いていない。

#### おしえて!!

##### 『子育て世帯臨時特例給付金』ってなに？

平成26年4月からの消費税引き上げによる子育て世帯への影響を緩和し、消費を下支えするため、臨時的な給付措置として行うもの。

#### 住居リフォーム

Q 延長される住居リフォーム助成事業はどのような内容となっているのか。

A 引き続き、バリアフリー改修などを助成する。省・新エネの工事は一部対象外となる。今後、3年間は継続する予定である。

#### 社教センター

Q 社教センターの備品として購入する音響反射板はどのように活用するのか。

A ※コンサートなどで使われる音を客席側へ反響させる板

A 移動式の1セット6枚組のもので、公民館やかみんでも使用できるようにしている。積極的に利用願いたい。

#### 人材アカデミー

Q この事業をどのように評価しているのか。

A 今年1年目であり、まだ自己分析の段階。コミュニケーション能力や会議での進行能力などは高まっているので、多くの方々に受講いただき、平成27年度まで3年間は継続したい。



1月22日に開催された人材育成アカデミー

新年度予算に意見を付す！

各会計予算に対し、15項目の審査意見を町長へ提出しました。

○歳入

国有提供施設等  
所在市町村助成交付金

で、引き続き増額要望を、  
年々減額されているの

○歳出

渉外経費

特別旅費は十分な成果  
が得られるよう努力を。

防災

① 自主防災組織

組織の活性化と未組織  
住民会の解消や、要援護  
者マップの更新指導と情  
報の共有を。

② 防災士

取得者の研修や講習な  
ど、地域にあった活用支  
援を。

③ 防災アドバイザー

計画をもって適正な人  
材配置を。

定住・移住

移住準備住宅の有効活  
用や、PR、様々な施策

も行い、総合計画の目標  
人口の達成を目指し、定  
住しやすい環境づくりを。

ロードバンド整備

維持管理は収支のバラ  
ンスを保ち、適正な運営  
が図られるように準備検  
討を。

新規開業支援事業

現行の要綱を実態に  
沿ったものに見直し、積  
極的活用が図られるよう  
努力を。



町長へ意見書を提出しているようす

観光

① 町の魅力をいかし、  
観光客が増加するよう努  
力を。

② 中央コミュニティ広  
場のテントは、観光客の  
誘客も含め、多くの町民  
が積極的に有効活用でき  
るよう努力を。

集落協議会交付金

十分な事業計画をたて、  
繰越金のないよう有効な  
活用を。

AED

整備や更新は、計画性  
をもって維持管理するよ  
う努力を。

健康づくり

① 特定健診の受診率は  
高いが、各種健診の受診  
率も向上するよう努力を。  
② 歯周病予防対策は、  
適切な実施と検証を。

恒久的生活支援策  
6事業

常に現状把握に努め、  
真に困っている方に対し  
制度の見直しや拡充の検  
討を。

町道の除排雪

これまでの経験を受託  
業者に伝えていくことも  
に、技術力の向上を図り、  
排雪のサイクルを早める  
など、適切な除排雪を。

国民健康保険  
特別会計

① 国保税の引き上げは、  
歳入の確保と歳出の抑制  
を図り、健全な運営を。  
② 医療費抑制のため、  
さらなる保健指導の充実  
に努力を。

③ 病状の重度化を防ぎ、  
早期発見のため、若年者  
の受診率向上に努力を。

ラベンダーハイツ  
事業会計

調理委託業務は、議会  
への説明責任を果たし、  
信頼を得るよう十分な協  
議を進め、安心安全な食  
の提供を。

病院事業会計

大変な努力をされてい  
るが、引き続き医師・看  
護師などの確保に努力を。

討論（一般会計）

反対（米沢 義英議員）

福祉灯油に代わる施策として、恒久的支援事業6事業を盛り込んだ予算であるが、これらの支援策は、リスクを抱えた人たちへの支援であり、対象が限定的であったり、事業によって対象者が課税世帯も含まれたり、保育料の見直しも一部分に限られるなど、内容も不十分であり、この6事業の見直しが必要である。

また、消費税増税など可処分所得が減少していく中で、国保税の引き上げが進められようとしており、国保税への一般会計からの繰り入れが必要であるにもかかわらず、それにこたえられない予算編成であることから、本予算に反対する。

賛成（岡本 康裕議員）

町財政も厳しい状況にあるが、昨年より11.7%増額の70億8千600万円の予算編成となった。真に支援が必要な方々への恒久支援策や、様々な地域課題や経済対策、建て物、施設などの公共施設などにも対応し、その他にも超高速通信環境整備、防災対策、子育て支援、街中にぎわいづくりのための大型テント設置、人材育成など、多くの課題に取り組み内容となっている。基金からの繰り入れなど健全財政の確立に向けた課題もあるが、限られた財源の中で最大の効果を得るよう編成された予算であり、本予算に賛成する。

スバリ ここが聞きたい！

# 一般質問

一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに町部局に対して行財政全般の考え方や疑問を問うことです。執行機関に所信を問い、事実を質すことにより、公正な行政を確保しようとするものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。詳細は、後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができますので、ぜひ、議場へお越しください。



まちづくりを問う！

ページ	質問議員	質問事項
11	佐川 典子 議員	1 8020 運動を推進し、20 歳から無料の歯科検診をしては 2 ふるさと納税について 3 いじめ防止と地域参加コミュニティ・スクールについて 4 おもてなし教育について
12	村上 和子 議員	1 大幅改正になる介護・医療・農業について、国の動向を見据えた政策の展開を 2 子どもの体力と学力向上を
13	岩崎 治男 議員	1 東中中学校閉校後の対応について 2 クリーンセンターについて
14	岡本 康裕 議員	1 これからの健康づくりについて 2 観光について
15	米沢 義英 議員	1 国民健康保険税について 2 子育て支援について 3 町立病院の改築について 4 空き地空き店舗について 5 地場製品の販売と普及について



佐川 典子 議員

教育

いじめ防止の今後は

学校いじめ防止基本方針の策定など進める

**佐川議員** 道はいじめ防止対策推進法に続き、都道府県で初めての条例制定を目指している。地域と連携し、道徳の重視や人権尊重への理解度を向上させることが必要ではないか。

**服部教育長** いじめは決して許されないことであり、いち早く把握して、迅速に対応する。各学校にいじめ防止基本方針の策定といじめ防止のための組織を設置する。

**佐川議員** いじめは心身に苦痛を感じることであり、小学4年から中学3年までの6年間でいじめの被害者と加害者はそれぞれ90.3%と88.9%というデータがある。「仲間はずれ、無視、冷やかす、からかい、悪口、うわさ」などが深刻化している。社会全体の気運を高めることと地域の住民に遅滞無く公表することが義務づけられた場合はどのように行うのか。

**服部教育長** 地域住民に理解いただけるよう広報の方法などを検討したい。  
**佐川議員** 将来の学校運営と地域と保護者の連携を図るためにも、予算も含めて参画できる施策と

寄付

ふるさと納税で地元産品を贈呈し、増収に繋げては

**佐川議員** 2年前にも質問したが、その間に過去最高の納税額を記録する自治体が増えていて時代の流れに呼応した政策も必要ではないか。財源確保の観点からも地元産品の贈呈することを知名度の向上や観光PRとなり税収アップにつながるのでは

**向山町長** 町を応援したいと思う寄付者への特典制度は、本来の意味からしてコミュニティ・スクールの導入を考えては。  
**服部教育長** 現在、町民の理解により、地域の教育力は維持されている。時代の流れに合うよう検討したい。



保健

20歳から無料の歯科検診をしては

**佐川議員** 80歳になって

**向山町長** 70歳代は急激に治療が始まっており、予防という点では60歳代までと考える。  
**佐川議員** 町内に6つの歯科検診を進めることは有効だと思う。東京港区は20歳から70歳の検診で25年度50%の目標を達成したが、若年層への対応は。  
**向山町長** 若年層からの対応が必要かデータを累積し検証して見極める。

**佐川議員** 今期までの町外からの寄付金の状況は。北川総務課長 平成25年度の状況は6件で54万円。  
**佐川議員** 町外に転出される方々の中に「第二のふるさと」と言う人も多く、今一度、検討課題と

そぐわないと考えている。  
**佐川議員** 今期までの町外からの寄付金の状況は。北川総務課長 平成25年度の状況は6件で54万円。  
**佐川議員** 町外に転出される方々の中に「第二のふるさと」と言う人も多く、今一度、検討課題と



村上 和子 議員

### 行政 介護・医療・農業 国の動向を見据えた行政を 介護・農業は計画を策定し 病院は安定経営に取り組み

**村上議員** 平成27年度に

改正される介護保険制度では、要支援1と2の認定を受けている方のサービスが介護給付から外され、市町村の対応となる。また、介護サービスの利用料が引き上げられるため、必要なサービスの利用を控えてしまい、介護予備軍となってしまうのではないかと。介護度を重く度化させないためにも今まで以上の取り組みが必要ではないか。

**向山町長** 高齢化により

介護度の重く度は避けられないので、効果的な介護予防に重点を置き、予防事業や支援事業を始めとしたサービス現場の実態を常に観察し、サービスの低下を招かないよう、第6期介護保険事業計画の策定に努めた。

**村上議員** 国では新

たに病床を「高度急性期」「急性期」「回



ふくしんでの介護サービスのようす

復期」「慢性期」の4つの機能に分けて再編し、必要な病床を削減しようとしている。町立病院でもリハビリの充実、地域包括ケア病床を新設するなど、今後の取り組みは。

**向山町長** 厚労省は平成

26年4月に行う診療報酬改定で平成37年に向けて地域包括ケアシステムの構築を図ること、在宅療養の充実などに取り組みすることを2本柱としている。現在は、現在の医師数や看護職員などでの対応は厳しい。しかし、動向を見

据え、どのような医療体制が必要なのか、現状のサービス提供に支障をきたすことがないよう、一層信頼度を高め、町民が安心して暮らせる医療体制の継続を最優先に考え、経営の安定化に向け取り組んでいく。

**村上議員** 政府は平成30

年に生産調整（減反）廃止を打ち出した。収入を標準化する仕組みを導入する方針である。何をやるかに関係なく町としては担い手を支えるべきであり、国の農業政策に対して行政はどのように関わっていくのか。

**向山町長** 国では今後10

年間で農業の所得を倍増させるなどのために政策の展開を打ち出している。米の生産調整もその一つである。動向を注視し、有利な制度活用を図り、基盤強化と発展につなげる。第7次農業振興計画を現在策定しており、実効性のある計画としたい。

**村上議員** 農地の中間管

理機構の設置はどのようになっているか。また、第7次農業振興計画にNPO法人や若手女性農業者などの人材育成、これからの農業の取り組み方、発信力などに取り組んでいくべきでは。

**向山町長** 農地の中

間管理機構は町も設定することになる。しかし、まだ方向性は定めていない。若い人が農業に関心を



ピートの種苗ハウス

### 教育 小中学生の体力の状況は 小中学生の体力は平均以上

**村上議員** 小中学生の体

力の状況は。平成25年度の当町の体力合計点は、小学5年生男子が全国平均を上回り、女子は全国平均程度。中学2年生の男子は全国平均をやや上回り、女子は全道平均を上回る結果となった。ス

**服部教育長** 現在、すぐ

に実施することは難しい。

ポーツ少年団や運動部の充実した活動が良い影響となり、家庭や地域とも連携した体力作りが推進されている。

**村上議員** 学力向上のため、土曜授業実施しては、

現在、すぐに実施することは難しい。



岩崎 治男 議員

**環境**  
クリーンセンターの  
安全性は確保されているか  
安全に稼働している

**岩崎議員** クリーンセンターは近代的なごみ焼却

施設、リサイクル施設として、平成9年、10年度の継続事業で完成した。この有効な施設も15年を経過している。安全安心が保たれているのか。

**向山町長** 排ガスに含まれ



クリーンセンター

実施している。平成25年の測定値は、A系統焼却炉、B系統焼却炉ともに、国と町が定めている基準値より大幅に下回っており、安全に稼働している。

**岩崎議員** 濃度を適正に保つために使用している

活性炭の使用量と費用は、

**向山町長** 活性炭の年間

使用量は、3千450キログラム、費用は平成24年度

**施設**  
東中中学校の  
閉校後の対応は  
地元住民との協議で  
方向付けをしたい

**岩崎議員** 東中中学校閉校後の校舎や体育館、敷地などの施設はどのよう

に活用するのか。

**向山町長** 地元住民会から、農作業の人材確保を

図るための宿泊施設に活用できないか検討してほ

しいとの意見をいただきたい。

しかし、検討協議を進

めたものの、実施困難と

の実績で22万円である。

**岩崎議員** 最終処分場は今後、どの程度使用可能なのか。

**向山町長** 現在の年間800

立方メートル程度の不燃

ゴミや焼却残渣を埋め立

てていることを考慮する

と、16年後の平成42年頃

には、定量になると試算

している。

の結論に至り、地元住民

会に理解をいただいた。

**岩崎議員** 自衛隊の武道

の練習場や体育協会を中

心とした団体が利用でき

るスポーツ施設としての

活用はできないか。

した。健康は年齢に応じたスポーツなどをするこ

**岩崎議員** プラスコヤカリカワのように、地元

の労働力を取り入れた企業

が進出し、操業している。

このような企業を誘致することは考えられないか。

**向山町長** 今後、町がどのように企業にアプローチしていくかは別として、そのような活用も一つの策として考えている。

**岩崎議員** 町は「健康づくり推進のまち」宣言を

踏まえ、どのような活用をするのか検討していく。

**向山町長** 地元の意向を踏まえ、どのような活用をするのか、意向を伺うことが町として

第一番

だと考



平成26年3月末で閉校した東中中学校



岡本 康裕 議員

### 観光 自然・山岳ガイドに 助成制度を 必要かどうか十分見極める

**岡本議員** 観光計画にあるボランティアガイドの助成制度を創設してはどうか。

見極めながら検討していくことも課題だと考える。

**岡本議員** 山岳事故の救

**向山町長** 町としてボランティアガイドの活動に関心のある方を対象とした、基礎的な研修の機会を今後設けていきたい。資格取得者の助成制度は、現在考えていない。しかし、十勝岳観光の振興を図るうえでどのような考

えが必要かなどを十分



自然を利用したスポーツ事業の様子

難体制を今まで以上に整える考えはないか。

**向山町長** 年々多くの方に訪れていただいている反面、事故も増えている。町管轄で山岳事故が発生した場合は、警察からの協力要請により、消防・山岳救助警備隊が招集される体制を整えている。

町から自衛隊への支援要請対応や、消防・救助隊への側面的支援のほか、看板設置などが主体的なものであり、今後も引き続き事故防止に努めていく。

**岡本議員** 既存の散策路の荒廃が目立つ。国や道に働きかけて整備はしないのか。

**向山町長** 町が上川南部森林監理署から貸付を受けている散策路は3つある。整備が十分行き届いていないので、「かみふらの十勝岳山岳会」や「旅館協会」などの意見も聞きながら検討する。

**岡本議員** 新たな散策路

は検討するのか。

**向山町長** 現在の散策路の整備が最優先課題と考えているので、新たな散策路の考えは持ち合わせていない。

### 健康 かみん・社教センターの マシンに指導者配置を 考えていない

**岡本議員** かみん・社教センターにあるトレーニングマシンにフィジカルトレーナーを週1から2回配置してはどうか

**向山町長** 新年度に社教センターにトレーニングマシンの更新を計画しているが、トレーニングマシンの正しい使い方講習の開催や利用者の要望に応じたトレーニングプログラムの作成支援などについては今後検討事項として考えている。

**岡本議員** 健康づくり推進のまち宣言の中に地産



観光振興計画とガイドのパンフ

考えていない

地消の項目があるが、これを機に地元で採れる野菜などを供給する取り組みを考えては。

**向山町長** 地産地消推進協議会や生産者組織などと連携しながら、地元

の食材が消費されるよう、流通方法や、保存方法の様々な検討・研究を行い、特に冬期間の野菜不足解消に向けて改善が図られるよう、積極

的な取り組みを行っていく。

**岡本議員** 町民に対して、今後健康づくりに対しての動機づけとなる施策はあるか。

**向山町長** 今日のわが町の介護の認定率の低さや健康診断の受診率の高さは今まで長い歴史を積み重ねて一歩一歩町民と対話を積み重ねた結果で今日がある。今まで築いてきた基礎を絶対崩さないということを行政の柱にしていく。キャンペーン的な事業には取り組まない。



社協センターのトレーニングマシン



米沢 義英 議員

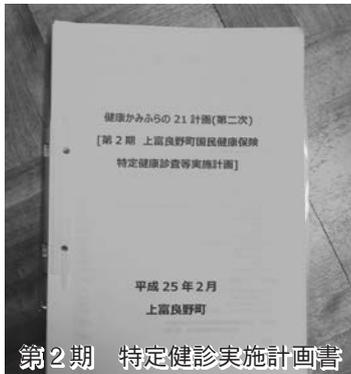
**国 保**

**国民健康保険税の  
引き下げを  
引き下げはしない**

**米沢議員** 電気料金の引き上げや、灯油、食料品などの生活必需品が値上がり、4月からは消費税率が8%になる中で、国民健康保険税の引き上げはやめるべきでは。

**向山町長** 国民健康保険

会計は、一般会計からの基準に基づく費用として繰り入れをしている。しかし、基準外の繰り入れは、その目的が税の軽減を目的とした場合、



第2期 特定健診実施計画書

国民健康保険の加入者ではない町民から租税を投入することになるので、税の公平性を著しく欠くことになり、行政の運営上、国民健康保険事業運営の手法として用いることは望ましくないと考え

**保 育**

**保育料の負担軽減を  
各階層の負担軽減は  
考えていない**

ている。国民健康保険税の引き下げのために一般会計からの基準外の繰り入れは行わない。また、所得が一定額以

**米沢議員** 町では、特に負担感がある保育料の軽減を、第4階層だけにしようとしている。しかし、各階層も負担感と同じであり、各階層の保育料の細分化を。

また、第1子が就学し、第2子を保育する場合、保育料を半額にするべきでは。

**向山町長** 保育

料の各階層の細分化は予定していない。保育料は国の基準に基



みんなで楽しく給食を食べる中央保育所の園児

下の世帯の場合には、軽減措置もあり、所得の少ない加入者の方々に配慮されている。

つき8つの階層区分となっており、基本的には負担能力に応じた設定が

**商 工**

**空き地・空き店舗  
関係団体と協議し  
検討したい**

されているものと理解している。今回、分割を予定している第4階層の世帯は、年間の収入額が20万円台から50万円台の範囲と大きな開きがある実態から、同階層の世帯間に負担感の平準化が必要と判断した。

また、第2子以降の保育料の軽減対策は、現在、国で検討しているところであり、今後の議論の成り行きなどを見極め、町の子ども・子育て会議の意見や財政状況も考慮した中で検討していく課題としたい。

**米沢議員** 元気な町、にぎわいと魅力ある商店街をつくるためにも、空き地・空き店舗の集約を始めとした街並みの整備が必要では。

**向山町長** 平成に

入り3回、商業者をはじめ、関係団体による組織を構成し、構想や計画の策定、街並み整備の事業化に向けた協議が行われてきた。しかし、い



商店街

## 先進市町村を視察！

厚生文教常任委員会と議会運営委員会が先進市町村を視察調査しました。その報告書を要約して掲載します。

### 厚生文教常任委員会

平成25年11月24日から28日までの間、鹿児島県の出水市・さつま町、大分県の別府市・豊後高田市を視察し調査を行いました。

### 『健康寿命の延伸』

#### ●鹿児島県さつま町

平成23年2月に「さつま町健康づくり推進の町」宣言が行われ、「健康増進課」が中心となり、健康づくり推進員や食生活改善推進員など地域のあらゆる組織団体と一体となって健康づくりを推進していた。

特長的な事業に、医療費の削減と健



さつま町での視察のようす

康意識の向上を目的とした「健康さつまポイント事業」があり、町が主催する特定健診などを受診するとポイントが受けられ、抽選によって健康に関する商品などがプレゼントされていた。

また、「特定健診受診勧奨推進事業」は、受診率と特定保健指導実施率の向上を図るために健康づくり推進員と自治会役員の地域力を活用した取り組みが進められていた。

#### ●大分県豊後高田市

大分県の中でも平均寿命と健康寿命が下位にあるため、健康寿命の延伸と医療費・介護費の適正化に取り組んでいた。

健康づくりに向けて「健康寿命の3年延長」、「運動の推進で医療費の抑制と削減に挑戦」、「運動大好き人口60%超」という明確な目標を掲げ、地域住民と行政が一体となり、各自治会から選出された健康推進員と減塩お助け隊の協力のもと、様々な健康づくり事業が進められていた。

また、市の主催する健康ウォーキングや体力テスト、特定健診など約30の事業に参加するとポイントが獲得でき、抽選で1万円相当の商品券が褒賞される「健康マイレージ事業」と、筑波大学と連携し、トレーニング用バイクなどを使ったトレーニングのデータが大学に送られ、科学的に分析されたデータによって指導が行われる「e-w

e-line s s事業」が大きな成果を得ていた。

### まとめ

さつま町の「健康づくり推進の町宣言」は、行政と住民が協力しあつて健康づくりへの関心の機運を高めながら計画的に進められていた。

また、自治公民会（当町の町内会）に健康づくり推進員や食生活改善推進員、在宅福祉アドバイザーを総数500名以上に委嘱し、地域の末端まで網羅した組織を活用し推進を図っていた。

豊後高田市は、目標と対象者が明確であり、地域力の活用や科学的根拠に基づいた事業、「歩く」を基本とした事業で市民のやる気と気づきに重点を置き、大きな成果を得ていた。

健康づくりは住民一人ひとりが健康に関心を持つことが重要であり、官民一体となった健康づくりへの取り組みを参考にすべきである。



豊後高田市での視察のようす

## 『特別養護老人ホームの運営』

### ●鹿児島県出水市

平成18年に1市2町による合併が行われ、多くの施設が民営化された。

市が運営する特別養護老人ホーム「紅葉園」も効率的な運営、官と民の適切な役割分担のために民営化が検討され、平成25年に社会福祉法人鶴寿会に委譲されることとなった。この委譲は市の財政に大きく寄与するとともに、入所者や職員にとってもより良い環境に改善された。

「入居者、家族、職員にとって良いことはすぐに「行く」という法人の考え方が、あらゆる面で大きな効果を発揮していた。



紅葉園での視察の様子

### まとめ

委譲を受けた法人は、「高齢者介護のあらゆる活動を通じ利用者様の尊厳を守り地域社会に貢献する」を基本理念に掲げ、①利用者本位のサービス提供、②家庭的な雰

囲気と誠心誠意の対応、③地域社会への貢献、④関連施設・関係者との連携を基本方針とし、地域の特色を活かして、ふるさとを憩える施設として努力されていた。

### ●大分県

#### 別杵速見広域市町村圏事務組合

別府市、杵築市、日出町で構成された一部事務組合。ゴミ処理施設なども運営している。

特別養護老人ホーム「広寿苑」は、昭和50年4月の開設以来30数年が経過し、建物や設備の劣化が著しく、広範囲にわたり改修が必要な状況となっていた。

また、「広寿苑」は、入所者の環境改善やプライバシー保護、バリアフリー化などが課題となっていた。公設公営による建替えは財政面から困難であり、民間による運営が必要との判断から、施設の廃止と民設民営化が決定されることとなった。

委譲先の選定は公平公正に審査され、「社会福祉法人 太陽の家」に決定し、平成23年3月に



別杵速見広域市町村圏事務組合での視察の様子

基本協定の締結が行われた。その後、施設の新設が行われ、平成24年4月から特別養護老人ホーム「太陽の家 広寿苑」として運営が開始された。

### まとめ

広寿苑は、法人が土地の無償貸与を受け、建物は法人により建設することが条件となっていた。

5年間の実績により安定的で目的通り運営されていることが確認されれば土地が無償で譲渡される方式が取られていた。

委譲により、事務組合にとっては建設のコストが発生しない、人件費が生じない、また、サービス提供面では多様化・高度化する住民ニーズに素早く対応できるなどの大きな成果が見受けられた。

さらに、行政のスリム化に加えて、新しい事業機会の創出にもつながり、経済効果などにも波及されていた。

一方で心配されていた利用者負担の増加は条例で抑制し、土地の無償貸与から無償譲渡までの条件など、官民一体となった地域福祉政策は非常に参考になった。

今回視察をした特別養護老人ホーム2か所は、地域を熟知した法人に委譲したため、職員の配置や利用者の利便性、施設の改修など十分な成果を上げていた。

議会運営委員会

平成26年1月21日から23日までの間、道南の福島町と森町を視察し調査を行いました。

『通年議会実施の経過と』

効果を検証』

●福島町議会を視察（1月22日）

福島町議会では、議会の活性化を目指し、全国町村議会議長会主催の「議会改革の取り組み」を聴講学習し、通年議会が実施されていた。

本来、議会は行政を監視し、多様な住民の声を行政に反映し政策化する機関でありながら、行政が提案してくる政策や予算を審議して、追認するだけの機関となっていたこ



福島町での視察の様子

とを反省し、議会の自主性や自立性などの機能を高めるために通年議会を平成21年度から実施していた。会期は4月1日に開会し、翌年3月31日に閉会、翌日の4月1日に自動的に開会されるようになっていた。議会の招集権は議長が持つており、通年議会の実施によって、常任委員会の調査や審議が充実し、委員会で調査・審議した結果を意見書としてまとめ、予算化と政策の具体化が必要なものなどに区分けをし、行政に報告されていた。

●森町議会を視察（1月23日）

森町議会では、「議会の活性化と町民に信頼される議会づくり」を目指すため、改革項目を示し改革に着手していた。

地方分権にふさわしい議会の監視機能の充実・強化を図り、議会が主導的で機能的な議会運営ができるように9か月の試行期間を設定し、その後、評価と検証を行い、平成23年1月から実施していた。

会期は1月1日から12月31日までとし、本会議の開催は3月と9月は1日から15日まで、6月と12月は第2火曜日と水曜日に開催。緊急議案などの審議が必要な場合はその都度本会議を再開できる規定となっていた。議会が主導的に議会を開くことができることになり、委員会の調査が随時、必要に応じてできるようになっていた。

まとめ

福島町と森町議会を調査した結果、通年議会の実施による弊害はないと考える。むしろ、議会が主導的に議会を開く仕組みとなった場合、閉会中の期間がなくなり、委員会の所管事務調査が随時、必要に応じてできるようになるため、議会の政策立案機能の充実と強化につながっていたのが印象的であった。

町議会として通年議会制度を採用するか、従前の議会制度を継続するかをしっかりと比較・検討し、議員間の議論を深めることが必要である。町民にとって開かれた議会、

町民の声が行政に反映されやすい議会をめざし、議会改革に取り組むことが必要と考える。



森町での視察の様子



2月17日	議会運営委員会	厚生文教常任委員会
24日	厚生文教常任委員会	総務産建常任委員会
25日	議会運営委員会	全員協議会
26日	議会運営委員会	議会広報特別委員会
27日	全員協議会	議会広報特別委員会
3月4日	第1回定例会(1日目)	議会広報特別委員会
5日	第1回定例会(2日目)	議会運営委員会
11日	第1回定例会(3日目)	予算特別委員会(1日目)
13日	予算特別委員会(2日目)	予算特別委員会(3日目)
14日	予算特別委員会(2日目)	予算特別委員会(4日目)
17日	議会広報特別委員会	第1回臨時会
18日	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会
19日	第1回定例会(4日目)	議会広報特別委員会
28日	第1回臨時会	議会広報特別委員会
4月9日	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会
15日	議会広報特別委員会	厚生文教常任委員会
16日	厚生文教常任委員会	

## ～ホームページの紹介です！～

みなさん！上富良野町の行政ホームページの中に議会のページがあることを知っていますか？



このボタンを押すと議会に関する情報がたくさん見られます！

例えば

- 議会などの会議録！  
(平成13年からの会議録を閲覧できます。)
  - 創刊号から今まで発行した議会だより！
  - 委員会レポート！  
(委員会などの議会活動のようすをご覧いただけます。)
- などなど・・・

詳しくは↓↓↓

<http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp>

こちらをご覧ください！

## ●○ おしらせ ○●

### ～議会を傍聴してみませんか？～

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる方法です。議会では住民生活にも関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政(町長や教育長)へ質問をする「一般質問」も行われます。

次の定例会開会予定は…

**6月17日(火)・18日(水)です！**

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議事堂までお越しください。

お気軽にお越しください。  
たくさんの傍聴をお待ちしています！

「町のひと」にインタビュー



黒田 和夫さん (西 12 線北 34 号)

十勝岳を真正面に、少し左に目をやるとそこには北海道の最高峰旭岳、里仁地区の高台にある見晴らしの良いところに住宅を構える黒田和夫さん(79)久美子さん(77)のご夫婦にお会いし話を伺いました。

眺めに魅せられて

「眺めに魅せられてここに決めたんだ。故郷の長野県下諏訪町と景色が似てるんだよ。あれから17年か。早いもんだね」

暖かい伊豆半島の稲取で育った妻の久美子さんは、「寒い北海道はいや」と最後まで反対をしたそうです。

夢であった

イチヨウ栽培に挑戦 上富良野に移住してき

てからは和夫さんの子どもたちからの夢であったイチヨウ栽培に挑戦。大粒のぎんなんがなるのを楽しみに朝早くから木の剪定や管理をするのが夏の日課と言う。

「1千本のイチヨウが大きくなって一面が真っ黄色になって実をつけたら素晴らしいと

思うよ。」と目を輝かせてご夫婦の夢を話してくれました。

『桃栗3年柿8年、柚子の大馬鹿18年、イチヨウの気違い30年』ということわざがあるけど夫婦が成長まで年数のかかるイチヨウ栽培に取り組み姿を見ると他人からは偏屈で頑固な夫婦が住んでいると思われているんだらうと周囲の人の目をちよつと気にしていました。

和夫さんは「だつて常識ではやらないよな。自分でも馬鹿だと思うよ。」



このお歳でとてつもなく膨大な夢に立ち向かう姿を拝見し、私も和夫さん久美子さんのように年齢を重ねてからも自分たちの夢を追い続けるチャレンジ精神を持ち続けたいものと思いました。

攻めの町づくりを期待しているよ

町に期待することは？の問いに「いま、上富良野町は現状維持でいいと思っているんじゃないかな。十勝岳、ラベンダーと、とにかく素晴らしい観光資源やおいしいものがいっぱいある。これらをもつともつと活かすことが必要だね。攻めの町づくりを期待してるよ。」と力強く話してくれました。

黒田さんご夫婦にお会いし、「青春とは心の若さである」と、ある作家の言葉が頭をよぎりました。

インタビュー… 中澤副委員長

あとかぎ

■それぞれの緊張で始まった新年度。テレビでゴールを目指すランナーが「本当にこの道でいいのか。」迷います。司馬遼太郎の道についての名言が浮かんできます。政治の道にあっては、少なくとも現在より調和のとれた偏らない持続可能な社会を目指すことが望まれます。

■消費税など様々な増税が始まり一円玉の重さが身にしみてきます。上手な税の使われ方を望むのは国民の総意です。一円玉と同様、皆様の少数意見も大切に対応する行政執行と、立ち会う議会人としての公平感や倫理観が当議会にも要求されます。議員一人ひとりが住みよいまちづくりのために奔走し、創造しやすい環境づくりをするのも大切ではないかと思えます。

■初めて入った店で支払いをしていると、レジの人が「良かったらお使いください。」と一円玉の入ったびんを指さしてくれました。戸惑う私に「当店は使ってもいいんですよ。」と言う。みごとなまでの「おもてなし」に感服でした。(佐川 記)

議会広報特別委員会



- 委員長 村上 和子
副委員長 中澤 良隆
委員 佐川 典子, 米沢 義英, 徳武 良弘, 中村 有秀

二〇一四年四月二十五日

発行/上富良野町議会 印刷/株総北海
〒071-0596 北海道空知郡上富良野町大町2-1-1
☎0167-45692 Fax 0167-455322
http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp